

国立大学法人琉球大学事務系職員の人事方針

〔令和3年2月24日〕
学 長 裁 定

国立大学法人琉球大学（以下「本学」という。）の目指すところである「地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学」、「アジア・太平洋地域の卓越した教育研究拠点となる大学」を達成するため、ここに事務系職員（以下、「職員」という。）の人事方針を定める。

I. 求められる職員像

少子高齢化、地域創生、グローバル化、Society5.0、人生100年時代の到来など、大学を取り巻く環境が劇的に変化する中で、本学は、時代や地域の要請に対し、的確かつ柔軟に対応し、大学改革を推進していく必要がある。その達成のために求められる職員像は下記のとおりである。

- 1 大学の特性を踏まえた広い視野に立ち、創造性・柔軟性・協調性を発揮して、積極的に教育・研究支援に取り組む職員
- 2 本学で働くことの使命と責任を自覚し、地域・国際社会への貢献に向け、強い意欲をもって行動する職員
- 3 不断の自己研鑽に努め、高度な能力と広い見識をもって、戦略的・機動的な大学運営を主体的に実践する職員

II. ダイバーシティの推進

本学は、琉球大学ダイバーシティ推進宣言に基づき、多様性のある人材を積極的に求めていくこととする。

III. 採用の原則

採用は、原則として国立大学法人等職員採用試験合格者とする。但し、実務経験や資格等により、高度に専門的知識を有する者や多様な経験を有する者を採用する場合及び年齢構成の適正化を目的とする場合は、選考により採用することもできることとする。

IV. 職員の育成

職員の育成は、「琉球大学職員研修～ちゅーばー職員育成プラン～」に基づいて行うこととする。併せて、数年ごとの人事異動や他機関との人事交流を通じて幅広い見識を養いながらキャリアアップを促していくこととする。